

「第23回全日本カッター競技大会」



目 時 昭和54年5月20日(日) 午前9時～午後4時
(雨天決行)

場 所 広島県江田島海上自衛隊
第一術科学学校沖海面

主 催 全日本カッター連盟

当番校 東京水産大学

後 援 海上自衛隊第一術科学学校

第 23 回 全日本カッター競技大会

主 催 全日本カッター連盟

当 番 校 東京水産大学

後 援 海上自衛隊第一術科学学校

〇 日 時 昭和54年 5 月20日（日曜日）
午前 9 時より午後 4 時まで
（雨天決行）

会 場 海上自衛隊第一術科学学校沖海面

〇 参 加 校 海 技 大 学 校 東 海 大 学
海上保安大学校 東京商船大学
鹿児島大学 長崎大学
神奈川歯科大学 日本大学
神戸商船大学 防衛大学校
水産大学校 三重大学
電気通信大学 東京水産大学

会議日程 (1) 主将会議

日 時 5 月19日(土) 14:00

場 所 海上自衛隊学生館 R131

出席者 参加各校主将及び主務

(2) 連盟会議

日 時 5 月20日(日) 大会終了後

場 所 (1) に同じ

出席者 各校顧問教官及び代表学生

第 23 回 全日本カッター

競技大会を迎えて



全日本カッター連盟会長

東京水産大学学長 佐々木 忠 義

安芸の小富士の雄姿を、くっきりと写し出す、紺碧の瀬戸内海に臨む江田島において、第23回全日本カッター競技大会を開催することになりました。まことに喜ばしいことであります。

全国の海洋、水産関係大学が参加され、日頃の練習、訓練の成果を力の限り発揮し、その覇を競い合うことは、海の若人にとっても関連大学関係者にとっても、まことに痛快事であります。私は、この大会の成功を心より祈念して止みません。

こうした行事を通して、選手諸君は更に海に親しみ海を通り、海を理解しそして科学する機会としてほしいのであります。

時あたかも新緑の候、この得難い場が、諸君の温かい友情の絆になることも期待して止みません。

なお、本大会を開催するにあたり、海上自衛隊第一術科学学校はじめ多くの関係各位から御好意と御賛助を賜りました。ここに記して関係各位に対し深甚なる感謝の意を表します。

昭和54年 5 月

大 会 役 員

大会委員長	東京水産大学学長	佐々木 忠義
大会副委員長	東京水産大学学生部長	岩 本 康 三
大会審判委員長		柳 川 三 郎
大会運営委員長		宮 崎 芳 夫
顧問	海 技 大 学 校	長 津 松 横 奥 橋 松 佐 内 柴 宮 野 小 宮
	海 上 保 安 大 学 校	田 野 孝 保 幸 宗 市 籙 治 惠 通 経 芳
	鹿 児 島 大 学	
	神 奈 川 歯 科 大 学	
	神 戸 商 船 大 学 校	
	水 産 大 学 校	
	電 気 通 信 大 学	
	東 海 大 学	
	東 京 商 船 大 学	
	長 崎 大 学	
	日 本 大 学 校	
	防 衛 大 学 校	
	三 重 大 学	
	東 京 水 産 大 学	

学 生 実 行 委 員

稲 田 博 史	笠 原 裕
永 田 司	近 野 隆 志
橋 本 昇	首 藤 望
中 本 等	館 野 嘉
林 村 夫	田 中 好 一
保 延 泰 良	仁 科 博 之
藍 原 一	橋 津 寛
青 山 研	藤 本 成
石 山 男	和 田 康
稻 田 佳 行	

ク ル 一 名 簿

海 技 大 学 校

顧問 長 畑 司

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	佐 野 義 則	機関	160	61	館山海員	東京
主 務	野 田 嘉 昭	"	169	55	大島商船	島根
艇指揮	金 子 啓 一	"	170	80	"	福岡
艇 長	夏 坂 昌 博	航海	172	60	小樽海員	青森
1	伊 藤 勇 司	機関	163	60	掛川工業	静岡
2	夏 木 政 和	"	171	75	宮崎水産	宮崎
3	橋 本 悦 夫	"	170	77	大分水産	大分
4	黒 木 務	"	176	66	門司海員	熊本
5	越 智 誠	航海	170	67	児島海員	愛媛
6	吉 良 勲	"	170	67	大分水産	大分
7	島 村 定 幸	機関	167	73	粟島海員	高知
8	宮 岡 重 友	航海	170	63	"	愛媛
9	渡 辺 貞 行	機関	172	61	"	"
10	上 坂 清 吾	航海	167	57	宮古海員	岩手
11	浜 川 敏 郎	"	172.5	68	鹿児島水産	鹿児島
12	山 本 寅	機関	175	65	宮古海員	秋田
補欠 1	佐 伯 安 男	航海	180	75	粟島海員	香川
2	浜 崎 豊	機関	175	70	天草工業	熊本

9月 停
休 場

N
N

海 上 保 安 大 学 校

顧問 津 田 孝 則

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	佐 藤 清 隆	航海 4	171	72	福 島	福島
主 務	清 水 弘 昭	機関 4	170	68	戸 畑	福岡
艇指揮	山 本 得 雄	" 3	183	78	吉 田	広島
艇 長	鈴 木 敏 弘	通信工学 4	169	65	石 巻	宮城
1	小 山 芳 幸	— 2	167	67	野沢北	長野
2	赤 津 洋 一	航海 4	178	58	本 庄	埼玉
3	井 手 淳 二 郎	" 4	174	64	筑紫中央	福岡
4	佐 藤 清 隆	" 4	171	72	福 島	福島
5	井 上 雅 英	機関 4	176	68	久留米大学附設	福岡
6	宮 尾 努	航海 4	174	69	広島基町	広島
7	長 谷 川 義 明	" 4	180	74	多 摩	神奈川
8	神 原 昌 彦	— 2	181	73	三原工業	広島
9	菊 池 宗 幸	— 2	174	68	仙台第二	宮城
10	福 谷 幸 資	— 2	172	59	広島南	広島
11	広 瀬 洋 介	— 2	168	64	小野田	山口
12	加 納 恵 二	— 2	167	65	宮崎西	宮崎
補欠 1	吉 竹 孝 仁	— 2	175	76	戸 畑	福岡
2	川 上 直 実	— 2	163	53	三 池	"

ク ル ー 名 簿

鹿 児 島 大 学

顧問 松野保久

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	嶋 元 隆 司	資源化学 3	176	70	鹿児島中央	鹿児島
主 務	緒 方 清 隆	水産 2	167	60	加治木	"
艇指揮	吉 田 昌 志	" 3	176	80	広田水産	岩手
艇 長	曾 根 光 司	航海 3	164	62	松山西	愛媛
1	内 田 珠 一	水産 2	175	69	済々黌	熊本
2	林 義 晃	" 2	178	68	宝 塚	兵庫
3	山 田 一 磨 呂	資源化学 3	169	62	高 田	大分
4	井 田 芳 人	水産 2	178	70	観 音	広島
5	木 間 達 郎	海洋生物 3	165	60	浜松北	静岡
6	森 晃 彦	食糧科学 3	178	68	長崎南	長崎
7	日 高 正 康	水産 2	173	69	鶴 丸	鹿児島
8	嶋 元 隆 司	資源化学 3	176	70	鹿児島中央	"
9	住 田 富 重	航海 3	167	63	宇和島水産	愛媛
10	林 広 之	増殖 3	174	66	清 風	大阪
11	石 丸 多 圭 志	水産 2	164	61	今治西	愛媛
12	小 原 英 章	" 2	172	67	井 草	東京
補欠1	伊 勢 和 広	" 2	168	64	広田水産	岩手
2	音 地 高 広	" 2	172	70	宇和島水産	愛媛
3	太 田 伸 二	" 2	167	63	佐世保西	長崎
4	岸 岡 正 伸	" 2	167	60	徳 山	山口

神 奈 川 歯 科 大 学

顧問 横田幸訓

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	斉 藤 英 二	歯科 5	180	72	延岡西	宮崎
主 務	加 藤 克 輔	" 5	170	68	日本学園	東京
艇指揮	斉 藤 英 二	" 5	180	72	延岡西	宮崎
艇 長	金 坂 親 司	" 5	174	68	長、生	千葉
1	岡 本 豪	" 3	178	61	修道高校	広島
2	山 田 弘 倫	" 3	170	68	延岡西	宮崎
3	近 藤 勝 則	" 2	170	65	佐 野	栃木
4	川 浦 茂 雄	" 2	175	75	長野吉田	長野
5	青 木 宏 和	" 4	172	70	厚 木	神奈川
6	恵 谷 潤 三	" 4	175	70	金光学園	岡山
7	小 笠 原 幸 記	" 2	170	65	盛岡第3	岩手
8	橋 本 和 喜	" 2	170	60	日 大	神奈川
9	小 山 田 公 生	" 2	172	59	大田原高校	栃木
10	田 沢 正 美	" 2	172	58	岐 阜	岐阜
11	間 宮 靖	" 4	172	60	小田原	神奈川
12	鈴 木 信 義	" 4	185	70	福島北	愛知
補欠1	山 田 格	" 2	170	63	福島工大付属	東京
2	河 合 茂 樹	" 5	170	65	成 章	愛知
3	篠 塚 嘉 昭	" 5	178	67	京 北	東京

ク ル 一 名 簿

神戸商船大学

顧問 奥村 宗行

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	吉 間 満 雄	航海 4	173	65	三国丘	大阪
主 務	田 中 清 美	原子動力 4	170	65	畝 傍	奈良
艇指揮	吉 間 満 雄	航海 4	173	65	三国丘	大阪
艇 長	田 中 清 美	原子動力 4	170	65	畝 傍	奈良
1	西 本 政 治	" 2	171	57	御 影	兵庫
2	大 島 忠 且	航海 4	173	65	筑紫ヶ丘	福岡
3	山 下 敏 正	機関 3	166	70	鶴 崎	大分
4	松 本 和 明	原子動力 3	166	61	加古川西	兵庫
5	藤 永 孝	航海 4	169	72	富士森	東京
6	戒 本 範 成	原子動力 4	173	69	萩	山口
7	坂 部 好 彦	機関 4	185	73	橋 本	和歌山
8	布 施 正 人	原子動力 3	176	62	虎 姫	滋賀
9	山 本 隆 道	機関 3	173	60	萩	山口
10	谷 川 勝 弘	航海 2	179	67	郡 山	奈良
11	五 十 嵐 信 二	原子動力 3	169	55	東宇治	京都
12	早 川 有 彦	航海 2	168	55	恵那北	岐阜
補欠 1	長 尾 和 彦	機関 3	165	58	追手門学院	大阪
2	山 中 康 広	" 3	166	60	明石北	兵庫
3	横 尾 清 司	航海 2	178	58	甲陽学院	"
4	丸 山 重 信	機関 2	174	60	春日丘	大阪

水産大学校

顧問 橋本市雄

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	井 上 治 久	製造 3	176	69	姫路南	兵庫
主 務	西 沢 忠 晴	増殖 3	171	70	千 歳	東京
艇指揮	川 北 敏 雄	漁業 3	172	58	東住吉	大阪
艇 長	堤 義 明	機関 3	175	68	明 善	福岡
1	田 中 三 重	増殖 3	171	63	隠 岐	島根
2	中 新 井 満	漁業 3	170	68	報徳学園	兵庫
3	近 藤 和 正	製造 3	172	68	伊勢崎東	群馬
4	細 川 正 信	" 3	170	63	宇 佐	大分
5	池 田 裕	機関 2	173	68	昭 和	愛知
6	井 上 治 久	製造 3	176	69	姫路南	兵庫
7	稲 井 邦 夫	漁業 3	176	72	大 東	大阪
8	土 谷 憲 也	機関 3	179	75	高 田	大分
9	西 沢 忠 晴	増殖 3	171	71	千 歳	東京
10	岩 本 明 寿	" 3	176	70	福山葦陽	広島
11	大 久 保 寛	製造 3	170	62	三原東	"
12	津 田 莊 太 郎	" 3	166	65	岩 国	山口
補欠 1	竹 葉 重 明	漁業 2	171	69	三 瓶	愛媛
2	新 屋 和 郎	" 2	180	70	廿日市	広島
3	横 山 亮	製造 2	176	68	北須磨	兵庫
4	堀 豊	増殖 2	165	64	松 蔭	愛知

ク ル ー 名 簿

電 気 通 信 大 学

顧問 松岡 頼之

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	和田 泰夫	電波通信 3	176	72	長野工	長野
主 務	川 島 英隆	通信工学 3	182	85	洛陽工	京都
艇指揮	和田 泰夫	電波通信 3	176	72	長野工	長野
艇 長	小 暮 武史	電子工学 4	170	68	太 田	群馬
1	尾 形 敏	通信機械 4	175	75	気仙沼水産	宮城
2	中 雄 治	電波通信 3	176	68	日 高	和歌山
3	菅 野 雅夫	" 2	174	74	東工大附	東京
4	松 本 政明	" 2	175	69	府中東	"
5	龍 藩 洞 訓 玄	" 4	190	89	稚 内	北海道
6	中 村 明 弘	" 2	171	63	大島南	東京
7	蔵 重 栄 治	" 2	172	81	佐 波	山口
8	川 島 英隆	通信工学 3	182	85	洛陽工	京都
9	弓 田 長 政	電波通信 4	170	67	田 島	福島
10	鳴 英 信	通信工学 2	170	69	大島南	東京
11	斉 藤 泰 丈	電波通信 2	173	73	村 上	新潟
12	高 師 章 爾	" 2	175	75	大多喜	千葉
補欠 1	田 倉 正 尚	通信工学 3	163	86	福 生	東京
2	高 橋 伸 一	電波通信 3	185	76	会津工業	福島
3	田 中 守	通信工学 2	170	66	川 口	埼玉
4	照 喜 名 敏 光	電波通信 2	184	82	那覇水産	沖縄

東 海 大 学

顧問 佐藤 治夫

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	俣 野 正 弘	船舶工学 4	168	68	佐 倉	千葉
主 務	南 波 聡	海洋土木工学 4	162	53	横浜立野	東京
艇指揮	島 田 良 雄	海洋工学 4	161	52	宇都宮東	栃木
艇 長	青 木 恒 安	海洋土木工学 3	170	62	早稻田	東京
1	山 廣 正 彦	船舶工学 3	171	65	成 城	"
2	大 川 洋 介	航海工学 4	164	60	忠 生	"
3	増 島 宏 明	" 4	173	63	成 城	"
4	篠 原 康 男	水産資源開発 3	177	63	作新学院	栃木
5	福 田 均	海洋工学 4	172	62	岐阜工	岐阜
6	宮 原 昭 二	船舶工学 4	178	74	福岡大附属大濠	熊本
7	伊 藤 恒 一 郎	航海工学 3	175	68	所沢北	埼玉
8	鈴 木 文 哉	船舶工学 4	162	63	高 輪	東京
9	高 原 達 郎	海洋工学 4	174	67	関 西	岡山
10	池 辺 克 也	航海工学 4	168	60	熊本県立第二	熊本
11	新 田 肇	海洋土木工学 4	171	67	山手学院	神奈川
12	矢 萩 雅 一	航海工学 3	167	61	東海大附属	東京
補欠 1	遠 藤 時 康	海洋土木工学 4	167	67	橘	静岡
2	菅 靖	航海工学 4	173	65	津 名	兵庫
3	吉 野 英 朗	海洋土木工学 3	173	62	東海大高輪台	東京
4	市 川 正 和	海洋資源 3	170	60	松 山	埼玉

ク ル ー 名 簿

東京商船大学

顧問 内海 博

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	細 越 敬 一 郎	航海 4	171	65	八戸北	青森
主 務	根 本 正 昭	" 3	175	65	都立富士	東京
艇指揮	細 越 敬 一 郎	" 4	171	65	八戸北	青森
艇 長	根 本 正 昭	" 3	175	65	都立富士	東京
1	石 井 実	" 2	165	65	都立八丈	"
2	中 村 重 孝	機関 4	178	70	鳥羽商船高専	三重
3	酒 井 真 一	航海 2	170	72	帯広柏葉	北海道
4	山 神 正 文	機関 2	171	66	鹿児島水産	鹿児島
5	福 田 正 孝	" 2	172	72	多治見北	岐阜
6	松 崎 和 昭	" 2	182	78	小 浜	長崎
7	森 猪 佐 雄	" 2	178	85	新 城	神奈川
8	谷 誠	航海 2	178	84	海 南	徳島
9	原 良 治	機関 4	172	64	都立足立	東京
10	堂 坂 裕 孝	航海 3	172	78	独 協	"
11	近 森 茂 雄	" 2	169	65	高知学芸	高知
12	五 井 猛	機関 4	171	64	富 岡	群馬
補欠 1	岩 本 直 人	航海 4	176	80	都立上野	東京
2	中 村 郁 男	" 2	173	66	柏 陽	神奈川
3	泉 野 泰 良	" 3	172	67	湘 南	"

長 崎 大 学

顧問 柴 田 恵 司

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	山 本 重 人	海洋開発 3	171	60	長崎南	長崎
主 務	本 田 勇 二	" 3	168	62	玉 名	熊本
艇指揮	吉 丸 友 裕	" 3	167	60	長崎西	長崎
艇 長	豊 田 瑞 樹	" 3	167	67	姫路西	兵庫
1	中 西 勝 則	海洋生産 2	170	68	春日丘	大阪
2	藤 森 弘 之	海洋開発 3	168	65	桐 蔭	和歌山
3	竹 森 弘 征	海洋生産 2	172	65	丸 亀	香川
4	簡 井 史 隆	" 2	170	63	白 石	佐賀
5	小 湊 浩 司	海洋開発 2	171	78	鹿児島水産	鹿児島
6	三 春 敏 夫	" 2	176	68	北多摩	東京
7	熊 木 敏 也	" 3	174	67	松山北	愛媛
8	藤 松 啓 嗣	海洋生産 2	177	70	長崎水産	長崎
9	本 田 勇 二	海洋開発 3	168	62	玉 名	熊本
10	茨 木 義 之	食糧科学 3	170	70	小 倉	福岡
11	石 橋 哲 二	海洋開発 3	174	64	長崎南	長崎
12	山 本 重 人	" 3	171	60	"	"
補欠 1	吉 本 澄 哉	" 3	165	62	熊本水産	熊本
2	出 口 栄 一	食糧科学 2	163	52	五 島	長崎
3	富 永 公 男	" 2	160	53	天 草	熊本
4	松 尾 節 夫	海洋開発 3	170	58	長崎北	長崎

ク ル 一 名 簿

日 本 大 学

顧問 宮内 通行

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	井 之 本 聡	水産学科 4	177	62	横須賀学院	神奈川
主 務	金 子 長 奉	農芸化学科 4	174	60	岡山日大	岡山
艇指揮	金 子 長 奉	" 4	174	60	"	"
艇 長	小 柳 弘	農学科 3	168	58	日大明誠	東京
1	板 倉 明 久	拓植学科 2	174	70	日大桜ヶ丘	"
2	菅ノ又 純 治	農学科 2				
3	逸 見 明 久	水産学科 2	171	71	県立水産	福岡
4	斉 藤 一 典	拓植学科 2	180	66	都立町田	東京
5	井 之 本 聡	水産学科 4	177	62	横須賀学院	神奈川
6	森 田 和 之	畜産学科 2	173	58	日大藤沢	"
7	浦 木 茂	" 3	172	64	佼成学園	東京
8	岩 崎 祐 司	農業工学科 2	172	70	県立小倉	福岡
9	川 田 誠 司	畜産学科 2	170	65	都立南	東京
10	大 野 裕 之	農学科 2	165	63	日大豊山	"
11	神 谷 茂	農業工学科 2	168	60	県立長久手	愛知
12	遠 藤 考 司	" 2	163	58	日大三島	静岡
補欠 1	小 林	水産 2	173	65	佐野学園	群馬
2	井 上	農業工学科 2	175	70	岡山日大	岡山
3	寺 崎	農学科 2	172	73	県立川口	埼玉

防 衛 大 学 校

顧問 野田 経 治

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	小 原 慎 久	機械工学 4	170	66	花巻北	岩手
主 務	石 塚 達 也	" 4	171	63	札幌西	北海道
艇指揮	小 原 慎 久	" 4	170	66	花巻北	岩手
艇 長	中 田 芳 基	航空工学 4	172	60	呉	広島
1	石 田 昇	電気工学 2	172	75	安 房	千葉
2	近 藤 日 出 男	航空工学 4	172	64	西大寺	岡山
3	岩 崎 正 人	機械工学 3	164	65	真 岡	栃木
4	宮 内 由 幸	電気工学 4	177	74	呉宮原	広島
5	米 谷 哲 司	" 4	180	80	神 戸	兵庫
6	赤 松 雅 文	国際関係論 2	176	72	加古川東	"
7	菅 原 光 彦	電気工学 4	188	87	仙台第一	宮城
8	川 本 祐 嗣	管理学 3	180	72	新居浜西	愛媛
9	米 倉 幸 増	応用化学 2	173	65	甲 南	鹿児島
10	小 梅 三 津 男	機械工学 4	177	70	函館ラサール	北海道
11	山 田 耕 治	電気工学 3	171	70	筑紫丘	福岡
12	池 田 徳 宏	航空工学 3	168	60	橘	静岡
補欠 1	山 田 信 明	機械工学 2	175	70	都城泉ヶ丘	鹿児島
2	井 恵 治	電気工学 2	170	67	日 南	宮崎
3	松 田 明 雄	国際関係論 2	172	67	大垣北	岐阜
4	小 手 川 敦	" 2	169	66	大分上野丘	大分

ク ル ー 名 簿

三 重 大 学

顧問 小林 裕

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	岩 本 輝 一	水産 3	180	72	芦 屋	兵庫
主 務	楠 本 喜 信	農 2	165	62	今 宮	大阪
艇指揮	一 岡 衛	水産 4	168	65	池 田	"
艇 長	荻 山 敦 司	教育 2	162	58	岩 村	岐阜
1	上 田 和 則	水産 2	172	58	郡 山	奈良
2	三 觜 徹	" 2	166	50	長 尾	大阪
3	内 田 亨	工・工化 3	170	73	岡崎北	愛知
4	伴 秀 文	水産 2	176	62	蒲郡東	"
5	阿 弥 一 起	" 4	168	60	和 泉	大阪
6	高 木 清 春	工・電気 2	171	62	幸 田	愛知
7	岩 本 輝 一	水産 3	180	76	芦 屋	兵庫
8	渡 部 孝 之	" 3	175	67	尾 北	愛知
9	宮 田 博	工・電子 3	176	65	"	"
10	岡 本 安 弘	水産 3	170	61	奈 良	奈良
11	上 田 省 三	" 4	173	62	明 星	大阪
12	楠 本 喜 信	農 2	165	62	今 宮	"
補欠1	玉 田 裕 通	水産 2	168	72	尼崎北	兵庫
2	根 谷 知 寿	" 2	177	74	奈 良	奈良
3	渡 部 誠 一 郎	" 2	168	76	西宮東	兵庫
4	菱 川 直 樹	農 2	172	64	明 和	愛知

東 京 水 産 大 学

顧問 宮崎 芳 夫

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
主 将	鈴 木 寛 文	漁業生産工 4	170	67	滝 川	北海道
主 務	福 沢 博 司	" 4	176	70	福 岡	福岡
艇指揮	高 橋 直 行	" 4	174	62	小石川	東京
艇 長	福 沢 博 司	" 4	176	70	福 岡	福岡
1	大 関 芳 沖	増殖 3	182	74	久留米	東京
2	増 谷 龍 一 郎	漁業生産工 3	175	63	境	鳥取
3	菅 原 敬	" 4	170	62	仙台第二	宮城
4	森 一 郎	海洋環境工 3	168	60	東 海	愛知
5	谷 内 修	増殖 3	177	69	向 陽	和歌山
6	川 本 博 文	海洋環境工 4	175	68	夢野台	兵庫
7	河 合 伊 三 夫	食品生産化 3	173	68	安下庄	山口
8	和 田 裕 之	海洋環境工 3	182	83	日立第一	茨城
9	木 原 修	漁業生産 3	173	67	大 嶺	山口
10	鈴 木 寛 文	漁業生産工 4	170	67	滝 川	北海道
11	入 谷 靖 明	漁業生産 4	173	66	宝 塚	兵庫
12	長 田 芳 穂	海洋環境工 4	168	62	桜 丘	神奈川
補欠1	藤 田 求	増殖 3	170	63	隠岐島前	島根
2	今 原 与 一	食品生産化 3	170	63	延 岡	宮崎
3	後 藤 吉 則	" 3	177	66	浦和西	埼玉
4	佐 藤 篤 雄	漁業生産工 3	170	63	横 手	秋田

レースの手引

本大会に使用される艇は長さ9m12人漕ぎのカッターである。救命艇として使用されるものであるが一般のそれは艀艇同型であるのに対し、艀を切落して外観は普通の舟艇と変わらない。外板鎧張りの木製で、オール12本（各々長さ約4.3m、握りの直径76cm、重さ10乃至15kgである）マスト、セール等の機装品を備え帆走も可能である。漕手はCrewと呼ばれ、艇尾より艇首に向って舷右側の者が1番、同じく左側の者が2番、以下交互に3・4～11・12番と続き、1、2番をBowmen、11、12番をStrokemenと称している。Strokemenは撓漕のピッチを加減する任務を持つ。艇尾で舵を握るのが艇長で指揮号令をかけ指揮するのが艇指揮である。艇指揮は艇のすべての指揮を行い船長に相当する。

レース距離は通常1,000m折返し1,000mの2,000mで行なわれるが、今回は海面の都合上、1,050m折返し950mの2,000m直線コースで行なう。各艇の艇首が一直線に並んだ時、号砲の信号を以ってスタートし、スタートラインより、1,050mの所に設置された各コース毎の回頭旗を、艇をこれに接触させずに左回り（反時計回り）に回頭して帰ってくる。ゴールは艇首がゴールラインに達した時とする。今回スタートラインとゴールラインは異なる。（次ページ会場略図参照）

予選は各グループ4又は5チームで実施する。各グループ優勝チーム及び2位チームでタイムの最も良かったチーム1チーム、及び敗者復活戦で1位となった計5チームによって最後に優勝戦が行なわれる。

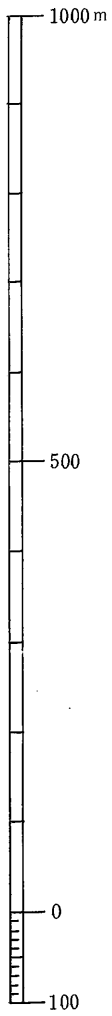
レースはいづれも時間的ずれによる海況の変化等の影響のためにタイムレースでなく着順位である。ピッチ（1分間に漕ぐ回数）は大体20～30であるが各チームとも漕法の研究を重ねているので必ずしも一定ではなくそれぞれ特色のある漕法によるピッチを持っている。レース所要時間は10分余であるが、しかし救命艇という性質上、いかなる荒海でもレースは行なわれ、そのような場合には30分にも及ぶことがある。カッターレースは10分余の間、一瞬といえども息を抜くことを許されず、しかもクルー全員の呼吸が完全に一致しなければならない。レースの見所は、ピッチをいくらに定めるか、スタートダッシュ、回頭、ラストスパートの巧拙、風浪、海潮流の対策、利用の巧拙等たゆまぬ練習、シーマンシップを完全に身につけた者が初めて克服できる実技を兼ねた、最も豪快な海のスポーツである。

審判規則

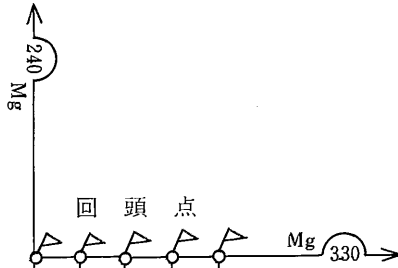
- 1 使用艇、オール及びコースはレースの都度抽選により決定する。
- 2 スタート
 - (1) 各艇は指定の時刻、コース順に従い、スタートラインに整列する。
 - (2) 5分前をマイクにより通達スタートブイにつく。ブイにつき用意が完了したら艇長は陸上の審判員に手を挙げて合図する。
 - (3) スタート用意：号笛短声連続、手旗2原画、号笛長一声手旗頭上より一回転する。
 - (4) スタート：頭上の手旗を垂直に振下すると同時に号砲を打つ。
- 3 審判長、審判員がスタートを不完全と認めたときは直ちにレースを中止せしめ、スタートラインに呼び返す。

諸信号、審判艇コース横断。
- 4 スタートにおける号令前の飛び出し及び艇の事故によるスタートの遅速等は2回で失格である。
- 5 回頭は左回頭とする。回頭は指定の回頭旗を回頭するものとし、他の回頭旗を回頭した場合及び回頭旗に艇またはオールの一部でも接触した場合は失格である。
- 6 ゴール：艇首が規定のゴールラインに入った順序をもって順位とし順序は審判員が判定する。
- 7 同着の場合は追込艇の勝とする。
- 8 ゴールイン時のスタートブイタッチは失格としない。
- 9 各艇は自己のコースを航行しもしこれを誤って他の艇に接触その他不正行為があったと審判員の認めたときには失格とする。
- 10 レース中のコースにおける障害、自艇の故障等は他艇の不正な接触を除く他各艇自らこれを忍ぶべきものとする。しかし審判長の判断によりこの限りでないときもある。
- 11 レースに関する異議申立等はすみやかに艇指揮がこれを行い、審判長が裁決する。
- 12 オールは予備2本を積み自由に使用してよい。
- 13 補欠は2名以内自由に交替できる。
- 14 オールは流したままゴールインしてよい。

会場略図



wind
☼



江田内湾

決勝線

出発線

テント

グラウンド

いかづち

第一術科学校
学生館

過 去 の 成 績

回	年月日	場 所	参加校	優 勝	2 位	3 位
1	32. 6. 23	東 京	8	東京水産大学	東京商船大学	神戸商船大学
2	33. 5. 25	神 戸	10	東京水産大学	水産大学校	東京商船大学
3	34. 6. 7	呉	11	水産大学校	海上保安大学校	東京水産大学
4	35. 6. 15	横須賀	10	神戸商船大学	水産大学校	海上保安大学校
5	36. 5. 28	神 戸	11	東京水産大学	水産大学校	三重大学
6	37. 5. 27	館 山	10	東京商船大学	防衛大学校	水産大学校
7	38. 5. 19	呉	11	東京水産大学	海上保安大学校	神戸商船大学
8	39. 5. 10	館 山	11	神戸商船大学	海上保安大学校	東京商船大学
9	40. 5. 16	神 戸	11	神戸商船大学	防衛大学校	水産大学校
10	41. 5. 15	横須賀	11	海上保安大学校	防衛大学校	三重大学
11	42. 5. 14	呉	11	防衛大学校	海上保安大学校	三重大学
12	43. 5. 19	館 山	11	防衛大学校	神戸商船大学	海上保安大学校
13	44. 5. 23	呉	9	防衛大学校	東京商船大学	海上保安大学校
14	45. 5. 17	館 山	12	防衛大学校	長崎大学	海上保安大学校
15	46. 5. 16	神 戸	12	防衛大学校	神戸商船大学	鹿児島大学
16	47. 5. 21	横須賀	13	防衛大学校	海上保安大学校	神戸商船大学
17	48. 5. 20	呉	12	海上保安大学校	東京水産大学	東京商船大学
18	49. 5. 11	館 山	13	長崎大学	海上保安大学校	水産大学校
19	50. 5. 18	館 山	12	神戸商船大学	防衛大学校	東京水産大学
20	51. 5. 16	神 戸	13	神戸商船大学	長崎大学	東京水産大学
21	52. 5. 29	横須賀	14	海上保安大学校	神戸商船大学	防衛大学校
22	53. 5. 21	呉	13	海上保安大学校	水産大学校	神戸商船大学

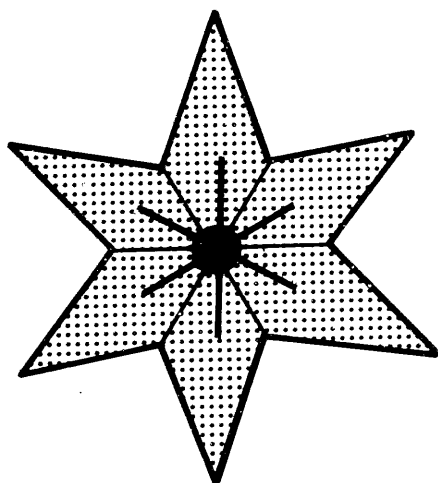
天候

風向

風速

波浪

時 刻	種 目	コース	校 名	艇	着 順	タ イ ム
0900	開 会 式					
1000	予選第1レース	1	鹿見島大	11	4	13'16"4
		2	海保大	15	1	12'21"8
		3	日大	10	※	失格 13'03"9
		4	三重大	9	3	13'08"9
		5	神船大	12	2	12'38"1
1045	予選第2レース	1	電通大	12	5	14'43"0
		2	長崎大	11	1	12'14"82
		3	海技大	15	4	12'57"1
		4	水産大	9	3	12'49'7
		5	東海大	10	2	12'49'3
1130	予選第3レース	1	東船大	11	3	13'06"2
		2	東水大	10	2	12'41"9
		3	防衛大	15	1	12'23"5
		4	神奈川大	9	4	14'09"4
昼 食 休 憩						
1330	敗者復活レース	1	東 船 大	9	5	13'28"8
		2	東 海 大	11	2	12'39"4
		3	水 産 大	10	3	12'47"2
		4	東 水 大	15	1	12'31"1
		5	三 重 大	12	4	12'59"2
1415	順位決定レース	1	日 本 大	9		13'28"5
		2	鹿見島大	11	2	13'10"4
		3	電 通 大	15	4	14'18"2
		4	神 歯 大	12	3	13'43"6
		5	海 技 大	10	1	12'48"5
1500	決 勝 レ ー ス	1	東 水 大	10	5	12'38"8
		2	防 衛 大	15	3	12'25"0
		3	海 保 大	12	4	12'30"0
		4	神 船 大	11	2	12'21"9
		5	長 崎 大	9	1	12'13"1
1530	閉 会 式					



東京水産大学